

平成23年度
補正予算の概要

(H24. 3月議決分)

1 一般会計 歳入歳出予算総括表(H24.3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 市税	15,036,252	147,908	15,184,160
2 地方譲与税	348,000	0	348,000
3 利子割交付金	51,000	△ 12,000	39,000
4 配当割交付金	25,000	0	25,000
5 株式等譲渡所得割交付金	10,000	△ 2,000	8,000
6 地方消費税交付金	913,000	0	913,000
7 ゴルフ場利用税交付金	65,000	0	65,000
8 自動車取得税交付金	66,000	0	66,000
9 地方特例交付金	134,006	21,190	155,196
10 地方交付税	4,294,943	△ 585	4,294,358
11 交通安全対策特別交付金	20,000	0	20,000
12 分担金及び負担金	409,871	10,304	420,175
13 使用料及び手数料	243,229	△ 1,092	242,137
14 国庫支出金	4,093,866	208,391	4,302,257
15 県支出金	1,779,684	189,496	1,969,180
16 財産収入	149,219	9,298	158,517
17 寄附金	9,829	12,166	21,995
18 繰入金	872,672	△ 89,362	783,310
19 繰越金	884,720	0	884,720
20 諸収入	1,706,342	58,982	1,765,324
21 市債	3,737,800	314,900	4,052,700
計	34,850,433	867,596	35,718,029

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 議会費	368,461	△ 6,901	361,560
2 総務費	5,877,069	4,939	5,882,008
3 民生費	10,594,987	26,670	10,621,657
4 衛生費	1,694,240	△ 66,553	1,627,687
5 農林水産業費	325,035	23,083	348,118
6 商工費	619,223	△ 14,368	604,855
7 土木費	4,656,286	△ 96,843	4,559,443
8 消防費	1,734,792	8,231	1,743,023
9 教育費	4,235,215	938,696	5,173,911
10 災害復旧費	205,780	50,642	256,422
11 公債費	3,776,238	0	3,776,238
12 諸支出金	733,107	0	733,107
13 予備費	30,000	0	30,000
計	34,850,433	867,596	35,718,029

補正予算のポイント

今回の一般会計補正予算は、第1回定例議会(H24年3月)において、既定の歳入歳出予算にそれぞれ8億6,759万6千円を増額し、予算総額を357億1,802万9千円としました。

今回の補正の主な内容は、①国の第3次補正予算による緊急防災・減災対策事業を活用した学校施設の耐震化等の推進事業の増額、②民間保育園の施設整備に対する補助金の増額、③国民健康保険特別会計への財政支援に伴う繰出金の増額、④子ども手当の減額などであり、その他、各事業費の確定に伴う補正を行うとともに、年度末に至って不足が見込まれる経費を計上しました。

以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

① 学校施設の耐震化等の推進事業・・・939,350千円増(教育総務課)

国の第3次補正予算(H23年11月21日成立)による緊急防災・減災対策事業で、「学校施設の耐震化等の推進事業」の前倒しがあり、これらを活用した事業をH24年度に繰り越して実施します。

[内訳]

- ・永山小学校校舎解体事業 146,950千円
- ・永山小学校体育館解体改築事業 348,650千円
- ・戸頭東小学校校舎耐震補強事業 109,145千円
- ・吉田小学校校舎耐震補強事業 205,645千円
- ・藤代小学校校舎耐震補強事業 128,960千円

② 民間保育園施設整備補助金・・・136,942千円増(子育て支援課)

私立たちばな保育園の改築事業に対して、民間保育園施設整備補助金を交付します。

③ 国民健康保険事業特別会計繰出金・・・72,742千円増(国保年金課)

国民健康保険特別会計において、72,742千円増の繰出をしますが、「そのうち国保加入者の負担が過重にならないように配慮し」一般会計繰入金53,128千円を増額し、当初予算の50,000千円と合わせ総額103,128千円の財政支援を行います。

④ 子ども手当・・・278,926千円減(子育て支援課)

平成23年9月分までは子ども手当つなぎ法、10月分からは特別措置法により、支給単価が変更になったこと、また、支給対象人数について当初予算積算より減少となる見込みのため、減額となります。

【歳入】

● 市民税・・・63,663千円増(課税課)

個人市民税286,209千円を増額

平成 21、22 年度の減収基調から、当初予算においては、前年度比 9.2%減を見込んでいたが、最終見込額は 4.2%減にとどまる見込みとなるため増額します。

法人市民税 222,546 千円の減額

震災や円高、タイの洪水による影響を受け、減収になると見込み減額します。

●市たばこ税・・・84,245 千円増(課税課)

平成 22 年 10 月からの税率改正に伴い、値上げによる大幅な消費量の減少を見込んでおりましたが、たばこ販売本数は平成 22 年度に対し 9.7%減にとどまる見込みのため増額します。

●利子割交付金・・・12,000 千円減(財政課)

●株式等譲渡所得割交付金・・・2,000 千円減(財政課)

●地方特例交付金・・・21,190 千円増(財政課)

地方特例交付金の児童手当及び子ども手当特例交付金について、子ども手当の特別措置法の成立に伴い、再算定により増額となるものです。

●国庫支出金・・・208,391 千円増

「学校施設の耐震化等の推進事業」に伴う公立学校施設整備費負担金 27,207 千円、安全安心な学校づくり交付金 54,829 千円、学校施設環境改善交付金 287,751 千円、災害復旧事業補助金 26,507 千円、地域介護福祉空間施設整備交付金 52,000 千円などを増額します。また、子ども手当負担金については 267,653 千円の減額となります。

●県支出金・・・189,496 千円増

東日本大震災に係る災害救助費負担金 38,749 千円、市町村復興まちづくり支援事業補助金 90,000 千円、子育て支援対策臨時特例交付金 91,295 千円などを増額します。また、社会教育費補助金については 24,549 千円の減額となります。

●基金繰入金・・・89,362 千円減

財政調整基金繰入金 64,612 千円の減額、その他の基金繰入金については基金充当事業の事業費確定により減額します。

●市債・・・314,900 千円増(財政課)

学校施設の耐震化等の推進事業に伴う、緊急防災・減災事業債 660,900 千円を増額します。また、災害復旧債については 272,200 千円の減額となります。

今回の補正予算も含めて、限られた財源を有効に活用し、だれもが暮らしやすいまちづくりのために役立てていきます。

2 取手駅西口都市整備事業特別会計 歳入歳出予算総括表(H24.3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 使用料及び手数料	71		71
2 国庫支出金	212,430		212,430
3 繰入金	402,481	8,416	410,897
4 繰越金	8,997		8,997
5 諸収入	7,300	479	7,779
6 市債	327,600	△ 33,800	293,800
計	958,879	△ 24,905	933,974

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 事業費	765,006	△ 24,905	740,101
2 公債費	193,373		193,373
3 予備費	500		500
計	958,879	△ 24,905	933,974

補正予算のポイント

今回の取手駅西口都市整備事業特別会計補正予算は、第1回定例議会(H24年3月)において、既定の歳入歳出予算からそれぞれ2,490万5千円を減額し、予算総額を9億3,397万4千円としました。以下にその主な内容を解説します。

【歳入】

- 市債・・・33,800千円減(区画整理課、中心市街地整備課)
地方債充当事業の事業費確定により、地方債を減額します。
また、街路整備事業債(地方道路整備臨時貸付金)について、配分額の縮減に伴い減額します。
- 一般会計繰入金・・・8,416千円増(区画整理課)
地方債の減額に伴い予算組替えのため一般会計からの繰入金を増額します。

【歳出】

- 取手駅北土地区画整理事業・・・21,219千円減(区画整理課)
各種工事の入札が終了し事業費が確定したため減額します。
また、道路築造に伴う用地代について、県有地払下げ金額の確定に伴い減額します。

3 国民健康保険事業特別会計 歳入歳出予算総括表(H24.3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 国民健康保険税	3,229,822		3,229,822
2 使用料及び手数料	1,100		1,100
3 国庫支出金	2,487,318	△ 126,239	2,361,079
4 療養給付費等交付金	697,276	△ 33,997	663,279
5 前期高齢者交付金	3,054,887		3,054,887
6 県支出金	468,795	△ 589	468,206
7 共同事業交付金	1,141,998		1,141,998
8 財産収入	3		3
9 繰入金	740,854	72,741	813,595
10 繰越金	305,748		305,748
11 諸収入	29,876	303	30,179
計	12,157,677	△ 87,781	12,069,896

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 総務費	278,471	541	279,012
2 保険給付費	8,170,164	△ 24,623	8,145,541
3 後期高齢者支援金等	1,539,411		1,539,411
4 前期高齢者納付金等	4,559		4,559
5 老人保健拠出金	2,410	△ 2,324	86
6 介護納付金	664,763	△ 69,410	595,353
7 共同事業拠出金	1,142,008	19,088	1,161,096
8 保健事業費	126,463	△ 11,193	115,270
9 基金積立金	31,001		31,001
10 公債費	1,083		1,083
11 諸支出金	177,344	140	177,484
12 予備費	20,000		20,000
計	12,157,677	△ 87,781	12,069,896

補正予算のポイント

今回の国民健康保険事業特別会計補正予算は、第1回定例議会(H24年3月)において、既定の歳入歳出予算からそれぞれ8,778万1千円を減額し、予算総額を120億6,989万6千円としました。以下にその主な内容を解説します。

【歳入】

- 普通調整交付金…137,821千円減(国保年金課)
普通調整交付金の交付見込額により減額します。
- 一般会計繰入金…72,741千円増(国保年金課)
保険基盤安定繰入金19,613千円の増額と、国民健康保険財政安定化支援金53,128千円を増額します。一般会計からの財政支援としてしての繰入金は、当初予算と合わせ総額で103,128千円となります。

【歳出】

- 一般被保険者高額療養費…24,623千円減(国保年金課)
一般被保険者高額療養費が減額見込のため減額します。
- 介護納付金…69,410千円減(国保年金課)
社会保険診療報酬支払基金への介護納付金の額が確定したため減額します。

4 後期高齢者医療特別会計 歳入歳出予算総括表(H24.3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 後期高齢者医療保険料	695,171	14,294	709,465
2 使用料及び手数料	120		120
3 繰入金	939,198		939,198
4 繰越金	11,565		11,565
5 諸収入	2,005		2,005
計	1,648,059	14,294	1,662,353

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 総務費	122,904		122,904
2 後期高齢者医療広域連合納付金	1,513,297	14,294	1,527,591
3 諸支出金	11,758		11,758
4 予備費	100		100
計	1,648,059	14,294	1,662,353

補正予算のポイント

今回の後期高齢者医療特別会計補正予算は、第1回定例議会(H24年3月)において、既定の歳入歳出予算にそれぞれ1,429万4千円を増額し、予算総額を16億6,235万3千円としました。以下にその主な内容を解説します。

【歳入】

- 後期高齢者医療保険料・・・14,294千円増(国保年金課)
特別徴収分が36,087千円の減額、普通徴収分が50,381千円の増額となります。

【歳出】

- 後期高齢者医療広域連合保険料納付金・・・14,294千円増(国保年金課)
市町村が徴収した後期高齢者医療保険料を広域連合に納付する納付金が14,294千円増額となります。

5 介護保険特別会計 歳入歳出予算総括表(H24.3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 介護保険料	1,190,830	△ 14,791	1,176,039
2 使用料及び手数料	85		85
3 国庫支出金	979,738	1,868	981,606
4 支払基金交付金	1,557,726	1,462	1,559,188
5 県支出金	771,434	674	772,108
6 財産収入	270		270
7 繰入金	890,139	17,469	907,608
8 繰越金	78,406		78,406
9 諸収入	3,038		3,038
計	5,471,666	6,682	5,478,348

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 総務費	147,271		147,271
2 保険給付費	5,154,944	4,875	5,159,819
3 地域支援事業費	109,517		109,517
4 諸支出金	39,934	1,807	41,741
5 予備費	20,000		20,000
計	5,471,666	6,682	5,478,348

補正予算のポイント

今回の介護保険特別会計補正予算は、第1回定例議会(H24年3月)において、既定の歳入歳出予算にそれぞれ668万2千円を増額し、予算総額を54億7,834万8千円としました。以下にその主な内容を解説します。

【歳入】

- 介護保険料・・・14,791千円減(高齢福祉課)
特別徴収保険料が12,133千円増額、普通徴収保険料が26,924千円減額となります。
- 支払基金交付金・・・1,462千円増(高齢福祉課)
介護給付費の増額に伴い、支払基金からの交付金が増額となります。
- 基金繰入金・・・17,001千円増(高齢福祉課)
介護保険料の減及び介護給付費の増加に伴う介護給付費準備基金からの繰入金の増額です。

【歳出】

- 高額介護サービス費・・・3,565千円増(高齢福祉課)
高額介護サービス利用者の増により、給付費を増額します。
- 特定入所者介護サービス費・・・1,310千円増(高齢福祉課)
特定入所者介護サービス利用者の増により、給付費を増額します。
- 災害臨時特定入所者介護サービス費・・・1,807千円増(高齢福祉課)
災害臨時特定入所者介護サービス費は、東日本大震災により被災した保険者が、施設入所に係る食費・居住費サービスの自己負担の全額を補助するもので、該当者の増により、給付費を増額します。

6 介護サービス特別会計 歳入歳出予算総括表(H24.3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 サービス収入	12,225		12,225
2 繰入金	771	△ 771	0
3 繰越金	1,300	771	2,071
4 諸収入	18		18
計	14,314	0	14,314

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 サービス事業費	13,814		13,814
2 予備費	500		500
計	14,314	0	14,314

補正予算のポイント

今回の介護サービス特別会計補正予算は、繰越金の増額により一般会計繰入金を減額するもので、既定の歳入歳出予算総額に変更はありません。

【歳入】

- 一般会計繰入金・・・771千円減(高齢福祉課)
 - 繰越金・・・771千円増(高齢福祉課)
- 繰越金の増額により、一般会計繰入金を減額します。

7 競輪事業特別会計 歳入歳出予算総括表(H24.3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 入場料収入	5,549	△ 5,549	0
2 車券発売収入	1,500,000	△ 1,500,000	0
3 車券発売副収入	1	△ 1	0
4 財産収入	20		20
5 繰越金	6,000	25,491	31,491
6 諸収入	40,483	11,730	52,213
計	1,552,053	△ 1,468,329	83,724

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 競輪事業費	1,537,436	△ 1,472,931	64,505
2 公債費	398	△ 398	0
3 諸支出金	10,000	5,000	15,000
4 予備費	4,219		4,219
計	1,552,053	△ 1,468,329	83,724

補正予算のポイント

今回の競輪事業特別会計補正予算は、第1回定例議会(H24年3月)において、既定の歳入歳出予算からそれぞれ14億6,832万9千円を減額し、予算総額を8,372万4千円としました。以下にその主な内容を解説します。

【歳入】

- 車券発売収入・・・1,500,000千円減(産業振興課)

【歳出】

- 通常競輪事業・・・1,473,931千円減(産業振興課)

東日本大震災により競輪場施設が甚大な被害を受け、本場開催が行えない状況となり場外開催のみの施行となったため、本場開催分に要する経費を減額補正するものです。